

令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

優秀賞
(連名受賞)

阪急バス株式会社茨木営業所

(大阪府茨木市上郡二丁目14番5号)

茨木の街のバリアフリー化を考える連絡会

(大阪府茨木市中津町3番26号 NPO法人自立生活センターほくせつ24内)

受賞者の取り組み

障害当事者が参画したバス乗務員向け 接遇研修の継続的实施

阪急バス株式会社茨木営業所と茨木の街のバリアフリー化を考える連絡会は、障害当事者自らが講師となる研修を2012年から現在に至るまで(コロナ禍の2020年度から2022年度を除く)毎年1回継続して研修を実施している。

障害理解に関する講義を実施するとともに、手動車椅子の方、電動車椅子の方、視覚障害の方、言語障害の方の乗降やコミュニケーションに関する実技を交えた講習を実施している。

阪急バス株式会社茨木営業所の働きかけにより、現在では京阪バス株式会社高槻営業所、近鉄バス株式会社鳥飼営業所など茨木市内を運行する他のバス会社に参加が広がり、毎年70名以上が参加する大規模な実地研修となっている。

研修参加者からは高い評価を得ており、また、一般の障害当事者の方からは運転者の対応が良くなったという声が聞こえてきている。

接遇研修の実施風景



電動車椅子ユーザーによる講義



年々講義内容をブラッシュアップしており、令和6年度は近年普及が進んでいるWHILL社製の電動車椅子の固定方法を取り上げた。



視覚障害当事者による講義と実習



手動/電動車椅子の操作・乗降に関する実習



言語障害当事者による講義と実習

講 評

障害当事者からの提案をきっかけに障害当事者と交通事業者と協働体制で研修を実施し、相互理解とコミュニケーションの実技を交えた研修を行ったことが特徴的であり、講師と受講者の双方向のやりとりを通じた学びの機会となっている点が特に評価できる。市内を運行する他のバス事業者も研修に参加するなど、地域のバリアフリー化推進に貢献している点も良い。

今後は、研修の更なる継続的实施と内容のスパイラルアップに期待するとともに、この取組が模範となって他地域にも波及していくことにも期待したい。